回覧

シンポジウム
ピリカ遺跡研究最前線

國學院大學考古学実習の様子　ピリカ遺跡K地点　2006年撮影　奥はダム湖

2026年10月11日（日）11:00～16:00

今金町民センター 2階大会議室（実演は研修室）

申込不要
どなたでも参加できます！

研究報告1　13:10～13:40

「ピリカ遺跡の石製小玉はどこから来たか？」

髙倉（たかくら）　純（じゅん）氏（札幌国際大学人文学部教授）

研究報告2　13:40～14:10

「ピリカ遺跡の旧石器人は何を食べていたか？」

庄田（しょうだ）　慎矢（しんや）氏

（奈良文化財研究所国際遺跡研究室長）

研究報告3　14:10～14:40

「ピリカ遺跡における石器群の変遷と年代について」

寺崎（てらさき）　康史（やすふみ）氏（今金町教委文化財研究員）

研究報告4　14:40～15:10

「本州からみたピリカ遺跡の大型石刃」

仲田（なかた）　大人（ひろと）氏（國學院大學文学部兼任講師）

石器づくりワークショップ
11:00～12:00　2階研修室

「頁岩で作る大型石刃」

実演者：瀬下（せしも）　直人（なおと）氏

（遠軽町教育委員会学芸員）

シンポジウム
15:15～16:00

テーマ「ピリカ遺跡のこれから」

パネリスト：各報告者4名

司 会：宮本 雅通

（今金町教委事務局次長・学芸員）

会場内で國學院大學考古学実習の発掘出土品を展示！

問い合わせ：今金町教育委員会事務局　☎0137-82-3488 / FAX 0137-82-3445

主　催：いまかね遺産保存活用実行委員会・今金町教育委員会
後　援：文化庁・南北海道考古学情報交換会・道南ブロック博物館施設等連絡協議会
本事業は令和8年度文化庁文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）を活用しています

文化庁

いまかね遺産保存活用推進事業
シンポジウム「ピリカ遺跡研究最前線～ピリカ遺跡のこれから～」
開催要項

1　主　旨

今年令和８年は國學院大學考古学研究室がピリカ遺跡で考古学実習を開始して30年、また７月には発掘資料が町に返還されるという大きな節目の年となりました。北海道埋蔵文化財センターによる最初の発掘調査から40年以上が経過する中で、ピリカ遺跡に関する研究は進展し、興味深い成果も現れています。このたび、各分野の研究者から成果概要を報告いただくとともに、意見交換を通して当遺跡の重要性を再確認するシンポジウムを開催し、多くの町民の皆様に、ピリカ遺跡の今後の調査研究や普及活動について興味関心を高めてもらうことを目的として実施します。

2　主　催　いまかね遺産保存活用実行委員会・今金町教育委員会

3　後　援　文化庁・南北海道考古学情報交換会・道南ブロック博物館施設等連絡協議会

4　テーマ　ピリカ遺跡研究最前線～ピリカ遺跡のこれから～

5　日　時　令和８年10月11日（日）11：00～16：00

6　会　場　今金町民センター２階大会議室・研修室（北海道瀬棚郡今金町今金68）

7　日　程

11:00～12:00　石器づくりワークショップ「頁岩で作る大型石刃」（会場2F研修室）
　実演者：瀬下直人氏（遠軽町教育委員会学芸員）
13:00～13:10　主催者あいさつ　いまかね遺産保存活用実行委員会委員長 小田島輝志
13:10～15:10　研究報告（各報告30分：質疑含めて４報告）
　①「ピリカ遺跡の石製小玉はどこから来たか？」13:10～13:40
　　報告者：高倉純氏（札幌国際大学人文学部教授）
　②「ピリカ遺跡の旧石器人は何を食べていたか？」13:40～14:10
　　報告者：庄田慎矢氏（奈良文化財研究所国際遺跡研究室長）
　③「ピリカ遺跡における石器群の変遷と年代について」14:10～14:40
　　報告書：寺崎康史氏（今金町教育委員会文化財研究員）
　④「本州からみたピリカ遺跡の大型石刃」14:40～15:10
　　報告者：仲田大人氏（國學院大學文学部兼任講師）
（休憩）
15:15～15:55　シンポジウム　テーマ「ピリカ遺跡のこれから」
　パネリスト：高倉氏・庄田氏・寺崎氏・仲田氏
　進行：宮本雅通（今金町教育委員会事務局次長・学芸員）
15:55～16:00　閉会あいさつ　今金町教育委員会教育長　中山秀悦

8　参加対象　　どなたでも参加できます（申込不要）

9　事務局　　実行委員会事務局（今金町教育委員会社会教育グループ）
TEL. 0137-82-3488 ／ FAX. 0137-82-3445
E-MAIL. imk-syakyo@town.imakane.lg.jp

本事業は令和８年度文化庁文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）の補助を受けて実施しています。